

News Release

2025 年 5 月 23 日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 5 月 7 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF の OASE® blue、台湾電力の CO₂ 回収・貯留プロジェクトで CCAT と協力

- 台湾電力の台中発電所パイロットプラントで年間 2,000 トンの CO₂ 回収を計画
- OASE® blue は CO₂ 回収率 90%以上、低エネルギー・アミン消費によるコスト削減、柔軟にスケールアップ可能
- 成長する CCS 市場に対応、GHG 排出削減と持続可能なエネルギー転換を支援

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、台湾最大の電力会社である台湾電力(Taipower)が運営する台中発電所の炭素削減技術センターにおける CO₂ 回収・貯留(CCS)プロジェクトに OASE®(オーエイス®) blue 技術を提供するため、カーボン・キャップ・アプリケーションズ・テクノロジー社(以下 CCAT、本社:台湾)とライセンス契約を締結しました。

この提携は、BASF の実績ある CO₂ 回収技術 OASE® blue に CCAT の先進的なエンジニアリング技術を組み合わせるものです。2023 年末に開始されたこのプロジェクトは、台湾電力の設計・計画要件に基づき、年間 2,000 トンの CO₂ を回収する見込みです。プロジェクト成功後、台湾電力は商業運転に向けた新たな実証プラントの開発可能性を評価し、次の段階では年間 100 万トンの CO₂ 回収を目指します。現段階では回収後の CO₂ は台中発電所に貯留され、次のフェーズでは台湾の沖合地層での貯留可能性が評価されます。

お問い合わせ:
BASF ジャパン株式会社
コミュニケーションズ部
communications-jp@basf.com

BASF ジャパン株式会社
住所: 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町 3-4-4
OVOL 日本橋ビル 3 階
<https://www.basf.com/jp>

OASE® blue は、化石燃料発電所、水蒸気改質炉、廃棄物焼却炉、セメント産業、海運分野などの排ガスからの CO₂ 回収を目的とした BASF のガス精製技術です。試験結果では、90%以上の高い回収率と、エネルギーやアミン消費量が低いことによる費用対効果の向上が実証されています。また、容易にスケールアップやモジュール化ができる柔軟な運用条件を備えています。さらに、食品グレード用に適した高純度 CO₂ を得られるように設計することも可能です。

CCAT のマネージングディレクター、ダニエル・ヤオ氏は次のように述べています。「現在は環境とエネルギーの転換期であり、CCAT は持続可能な発展と CO₂ 排出量の削減の重要性を深く理解しています。台湾初の CCS 実証プロジェクトを担当し、BASF の優れた OASE® blue 技術を活用して協力できることを光栄に思います。今回の提携により、環境保護プロジェクトの技術力と成果の向上を図ります。両社のグリーンエネルギー分野での発展を推進し、環境に優しい発電の効率的なソリューションを台湾電力に提供します。」

BASF 中間体事業本部アジア太平洋地域 OASE® Gas Treating Excellence ディレクター、ローレンス・ローは次のように述べています。「このプロジェクトは BASF の CO₂ 回収技術 OASE® blue が台湾電力をはじめとする CCS 導入に取り組むお客様を支援し、持続可能なエネルギー転換を加速する方法を示す、また一つの注目すべき BASF のリファレンスプラントとなるでしょう。」

炭素削減技術センターは、台湾電力の台中発電所に併設されています。同発電所は、石炭からガスへの移行を推進するためガス火力発電の建設を開始しており、更に温室効果ガス (GHG) 排出削減のために CCS 実証技術の導入を進めています。

CCAT について

カーボン・キャップ・アプリケーションズ・テクノロジー株式会社 (CCAT) は、先進的なエネルギー技術と自動制御装置のエンジニアリングサービスを世界中に提供しています。当社は CO₂ 回収・貯留分野に積極的に取り組んでおり、最新の環境政策に準拠したカスタマイズソリューションを提供することで、顧客のカーボンフットプリント削減を支援しています。新興テクノロジー企業として革新と専門性により国内外での市場拡大を進めるとともに、パートナー企業と環境エネルギープロジェクトを推進することで、地球環境保護とエネルギー革新に貢献しています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■OASE®について

ガス精製技術において 50 年以上の経験を備える BASF は、天然ガス、合成ガス、燃焼排ガス、バイオガスなど、幅広い用途に向けた効果的なガス精製ソリューションを提供しています。当社の技術は、世界中

の約 500 の設備で採用され、その性能が実証されています。優れたガス精製技術である OASE®(オーエイス®)ブランドのもと、さまざまなガス精製技術や溶剤、デジタルプラットフォームである OASE® connect を含む技術サービスパッケージを提供しています。OASE®製品はバリューチェーンにおけるサステナビリティに大きく貢献するシステムソリューションの一部です。OASE®は、従来の技術に比べてガス精製の効率が非常に高く、資源の保全、省エネルギーによる排出量の削減に大きく貢献します。

詳しい情報は <https://www.oase.basf.com/> (英語) <https://www.basf.com/jp/ja/products/product-list/intermediates/gas-treatment.html> (日本語) をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追及しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアローン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。